

平成 19 年 1 月 23 日

各 位

会社名 イーシステム株式会社
(コード番号: 4322)
代表者名 代表取締役社長 渡辺 博文
問合せ先 取締役 大西 浩之
(TEL. 03-3516-9259)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等に踏まえ、平成 18 年 8 月 25 日に発表した通期の連結業績予想並びに単体業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成 18 年 12 月期決算 連結業績予想数値 (単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,000	200	450
今回修正予想 (B)	3,185	△1,076	△2,801
増減額 (B - A)	△1,815	△1,276	△3,251
増減率 (%)	△36.3%	-	-
前期実績 (平成 17 年 12 月期決算)	4,318	△451	△2,273

2. 単体業績予想数値の修正

平成 18 年 12 月期決算 単体業績予想数値 (単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,000	100	400
今回修正予想 (B)	2,016	△736	△2,307
増減額 (B - A)	△1,984	△836	△2,707
増減率 (%)	△49.6	-	-
前期実績 (平成 17 年 12 月期決算)	3,198	△551	△2,491

3. 修正の理由

当社の主力事業分野である CRM 市場では、一昨年来の CRM ソフトウェア業界再編による影響が一段落してきたことを背景に、顧客の混乱も沈静化しつつあり、10 月以降は当社の CRM 導入コンサルタントの稼動状況はほぼフル稼動の水準となっております。しかし一方で、

- ① ソフトウェアライセンスの販売が、いまだ低調に推移していること。
- ② 第 4 四半期から進行している大企業向け CRM 案件において、売上計上が見込まれていた約 6 億円のソフトウェアライセンス販売に関して計上が翌期にずれ込む見通しとなったこと。

- ③ ①および②の結果、当社が保有ソフトウェア使用許諾権に関する評価減を実施したことを主因として、2,276百万円の特別損失を計上すること。

以上の結果、当期売上（単体）は2,016百万円、当期損失（単体）は2,307百万円となる見込みです。また、連結ベースでも、単体業績の影響が大きく、売上高及び利益が大幅に減少する結果となりました。以上の結果、当期売上（連結）は3,185百万円、当期損失（連結）は2,801百万円となる見込みです。

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上